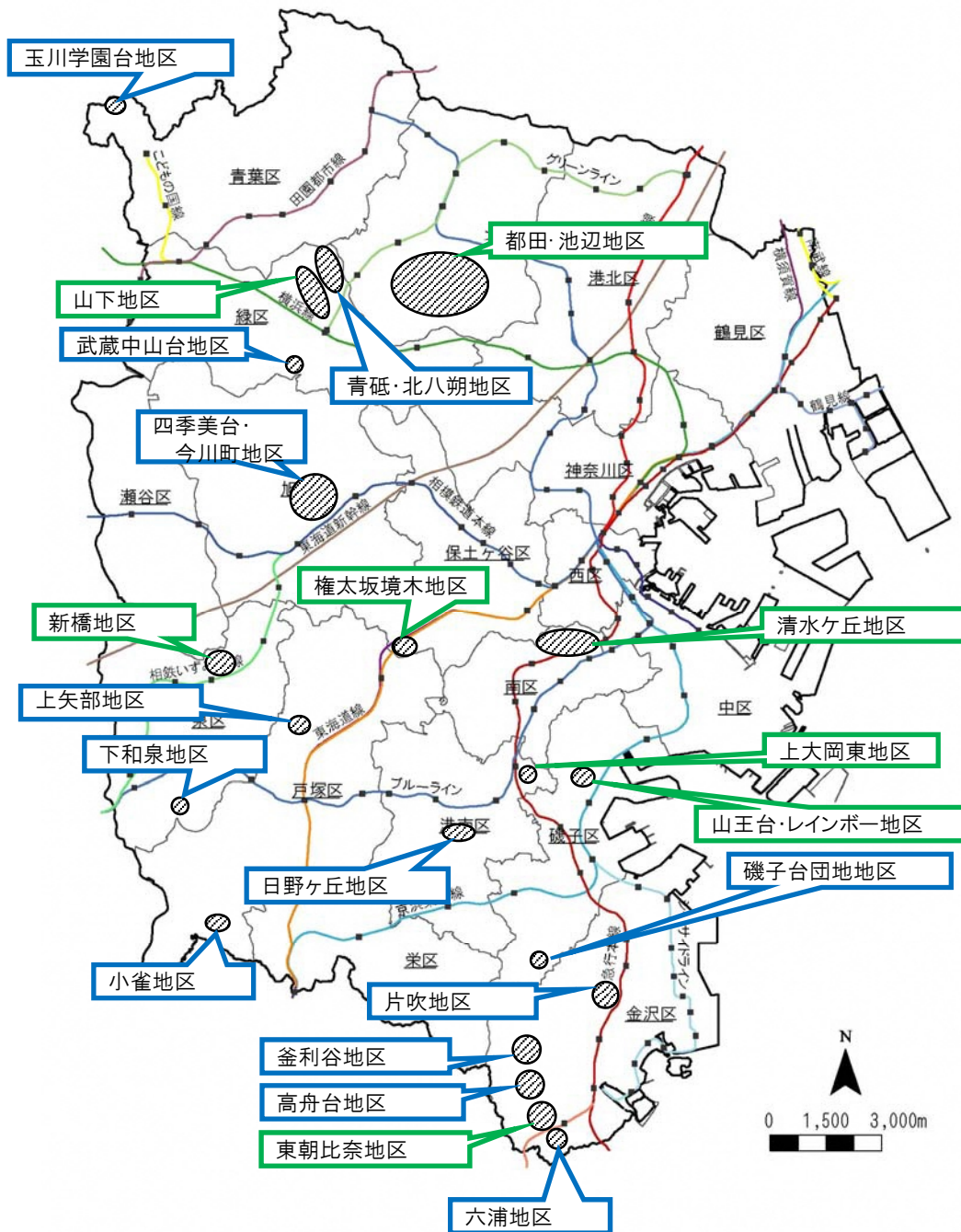


議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について



■ 地域交通サポート事業とは

- 生活に密着した公共交通サービスの実現に向けた、地域の主体的な取組みがスムーズに進むよう、実現に至るまでの活動に対する支援を行う事業です。

■ 主な支援内容

- ① 地域まちづくり支援制度による活動経費助成
- ② 地域の検討への技術的支援(アンケートの分析等)
- ③ 実証運行における運賃収入等と運行経費の差額補てん 等

■ これまでの取組

- バス路線の新設(定時定路線運行)
- 既存バス路線の再編・改善(増便、延伸、経路変更等)
- 地域の共助による交通手段の導入



 : 本格運行中の地区(13地区)
 : 実証運行中や検討を続けている地区(8地区)
 (平成19年から平成30年7月末まで)

■ 実証運行や本格運行を開始した地区(平成28年4月以降)

- 本格運行に移行
 - 金沢区片吹地区(平成28年10月1日～)
 - 金沢区高舟台地区(平成28年12月16日～)
 - 緑区武蔵中山台地区(平成29年2月25日～)
 - 金沢区釜利谷地区(平成29年12月16日～)
- 実証運行中
 - 緑区山下地区(平成28年12月5日～)
 - 都筑区都田・池辺地区(平成29年5月8日～)
 - 保土ヶ谷区権太坂境木地区(平成29年10月1日～)

議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組① 金沢区片吹地区



■地区の概要

- 約1,000世帯、約2,300人
- 能見台駅、金沢文庫駅から約1kmの丘陵地に立地

■取組の経緯

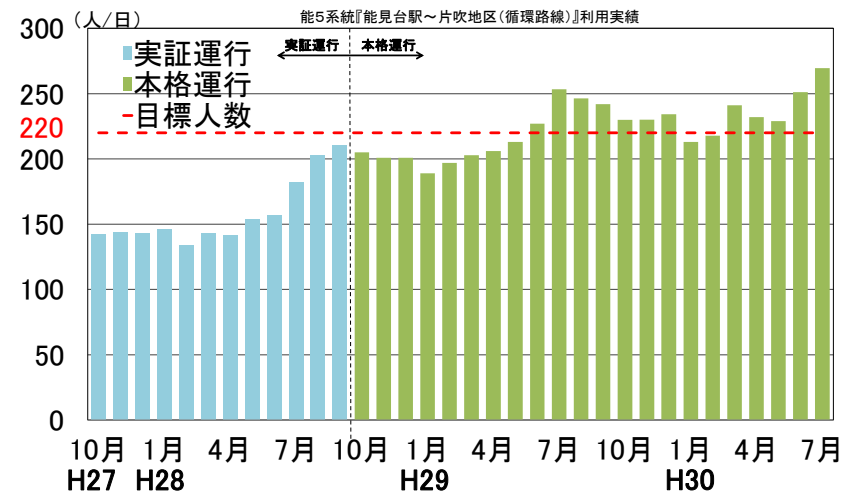
- 平成24年10月 地域まちづくりグループ登録
- 平成25年3月 移動動向アンケート調査実施
- 平成26年8月 検討ルートについて、実車走行調査実施
- 平成27年10月 実証運行開始
- 平成28年4月 実証運行の利用状況アンケート調査実施
- 平成28年10月 本格運行を開始
- 平成29年12月 本格運行後の利用状況アンケート調査実施

■本格運行の概要

- 運行区間 能見台駅～片吹団地～能見台駅
- 運行時間 9～16時台 ※平日・土休日共通
- 運行本数 14便/日 ※平日・土休日共通
- 運行事業者 京浜急行バス(小型バス)

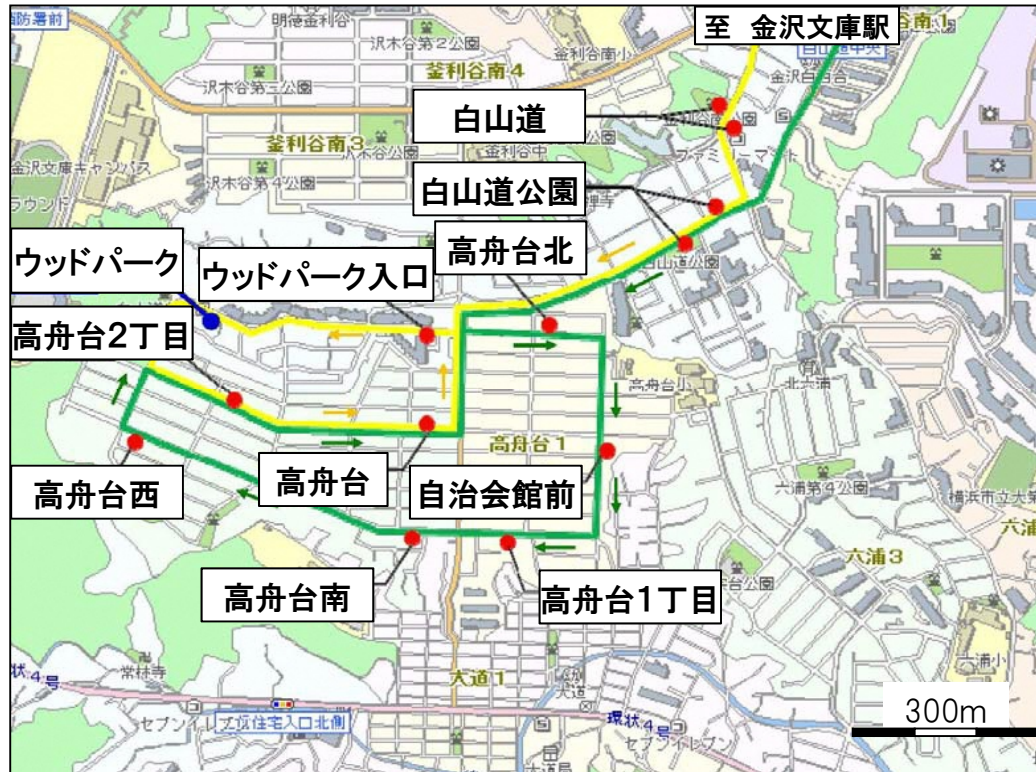
■利用状況

- 235人/日(平成29年7月～平成30年6月実績の平均)
※目標人数:220人/日



議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組② 金沢区高舟台地区



■地区の概要

- 約2,000世帯、約4,800人
- 金沢文庫駅から約3.5kmの丘陵地に立地

■取組の経緯

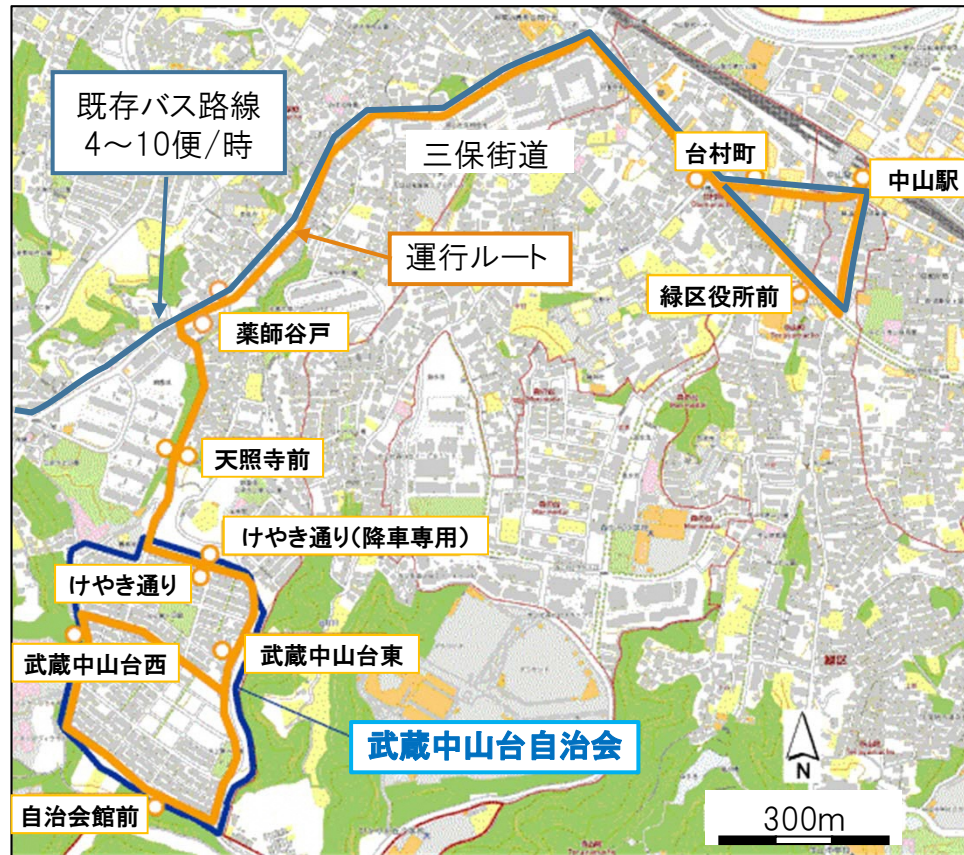
- 平成26年10月 地域まちづくりグループ登録
- 平成27年5月 交通利便性に関するアンケート調査実施
- 平成27年12月 路線再編を検討
- 平成28年7月 増便・バス停追加を検討
- 平成28年12月 ダイヤ改正(本格運行)
増便、最終バス便の時間繰り下げ、
バス停の追加1箇所(ウッドパーク)

■本格運行の概要

- 運行区間 文10:金沢文庫駅～白山道・ウッドパーク入口～
金沢文庫駅
文20:金沢文庫駅～釜利谷市民菜園・
白百合幼稚園・自治会館前～金沢文庫駅
- 運行時間 文10:6～24時台(平日)、
6～22時台(土休日)
文20:6～20時台(平日・土休日)
- 運行便数 文10:74便/日(平日)、
42便/日(土休日)
文20:22便/日(平日・土休日)
- 運行事業者 京浜急行バス(小型バス)

議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組③ 緑区武蔵中山台地区



■地区の概要

- 約440世帯
- 昭和60年ころに造成された斜面地の住宅地

■取組の経緯

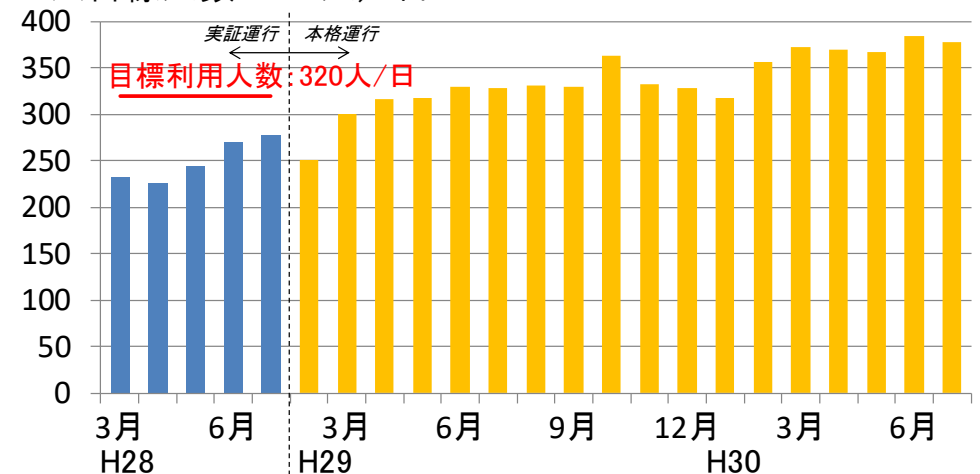
- 平成25年11月 地域まちづくりグループ登録
- 平成26年1月 移動傾向を把握するためのアンケートを実施
- 平成26年12月 検討ルートについて、実車走行調査実施
- 平成28年3月 実証運行開始(平成28年7月25日まで)
- 平成28年5月 実証運行中の利用状況アンケート調査実施
- 平成29年2月 本格運行開始

■本格運行の概要

- 運行区間 自治会館前～中山駅～武蔵中山台西
- 運行時間 7～20時台(平日・土曜)、9～16時台(休日)
- 運行本数 17便/日(平日・土曜)、10便/日(休日)
- 運行事業者 神奈川中央交通(中型バス)

■利用状況

- 348人/日(平成29年7月～平成30年6月実績の平均)
- ※目標人数:320人/日



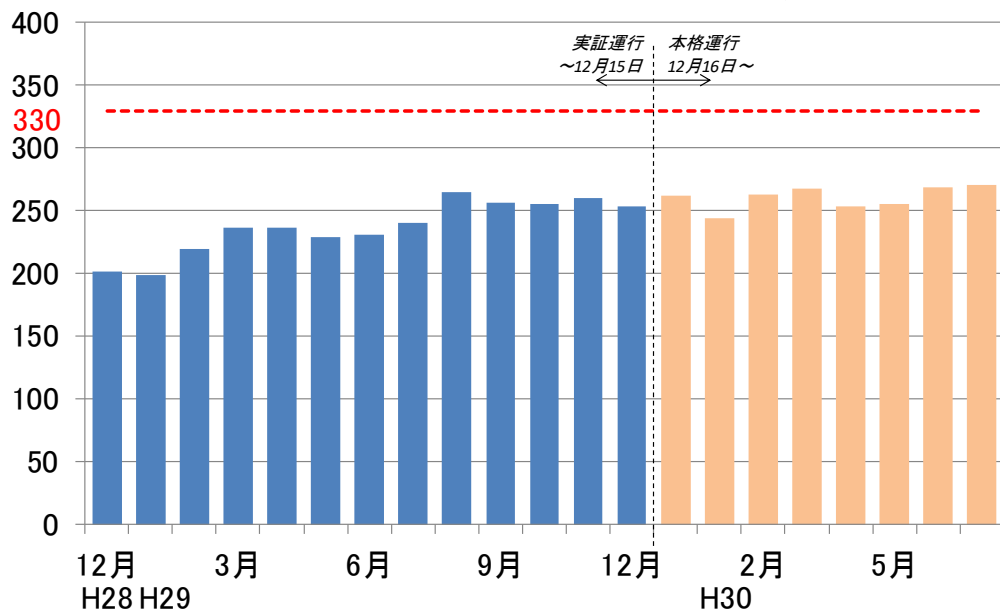
実証運行: H28.3.26～H28.7.25 本格運行: H29.2.25～

議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組④ 金沢区釜利谷地区



■ 実証運行 ■ 本格運行 --- 目標人数



■ 地区の概要

- 約2,000世帯、約5,500人
- 昭和50年ころに造成されたすり鉢状の地形をなす住宅地

■ 取組の経緯

- 平成25年5月 地域まちづくりグループ登録
- 平成25年9月 移動動向アンケート調査実施
- 平成26年8月 検討ルートについて、実車走行調査実施
- 平成27年12月 需要予測アンケート調査実施
- 平成28年7月 バス停位置確認のため、実車走行調査実施
- 平成28年12月 実証運行開始
- 平成29年5月 実証運行中の利用状況アンケート調査実施
- 平成29年12月 本格運行を開始

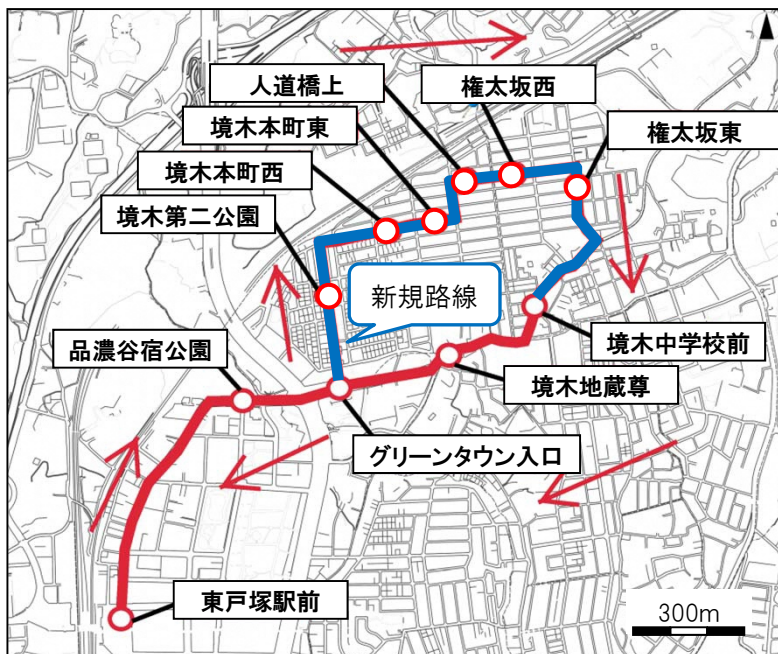
■ 本格運行の概要

- 運行区間 金沢文庫駅～坂本・夏山循環
- 運行時間 9～16時台 ※平日・土休日共通
- 運行本数 11便/日 ※平日・土休日共通
- 運行事業者 京浜急行バス(小型バス)

■ 利用状況

- 257人/日(平成29年7月～平成30年6月実績の平均)
- ※目標人数:330人/日

最近の取組⑤ 保土ヶ谷区権太坂境木地区



■地区の概要

- 約1,700世帯
- 東戸塚駅から約1.5kmの位置にある斜面地

■取組の経緯

- 平成28年8月 地域まちづくりグループ登録
- 平成28年9月 移動状況に関するアンケートを実施
- 平成29年3月 新たなバス路線の利用需要を把握するアンケートを実施
- 平成29年10月 横浜市交通局による実証運行開始
(平成30年9月30日まで)

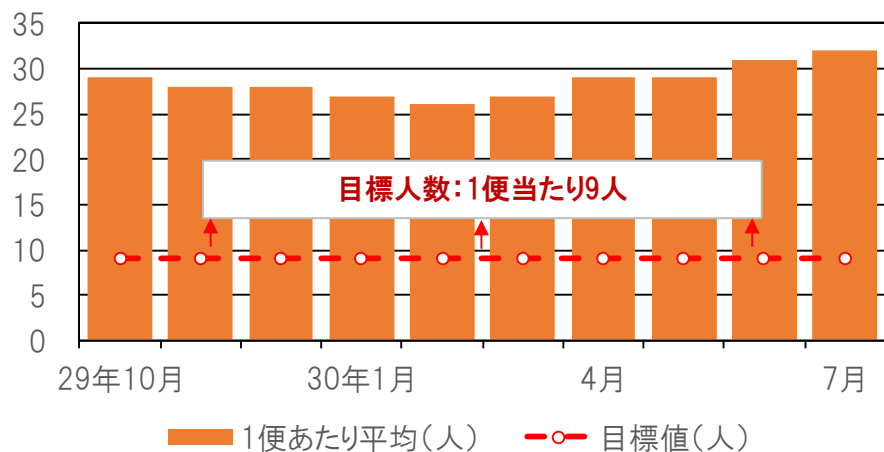
■実証運行の概要

- 運行区間 東戸塚駅前～境木本町循環
- 運行時間 6～22時台(平日)、7～21時台(土曜)、7～20時台(休日)
- 運行便数 19便/日(平日)、15便/日(土曜)、14便/日(休日)
- 運行事業者 横浜市交通局(中型バス)

■利用状況

- 28人/便(平成29年10月～平成30年4月実績の平均)
※目標人数:9人/便(新設されたバス停における乗車人数)

214系統利用実績



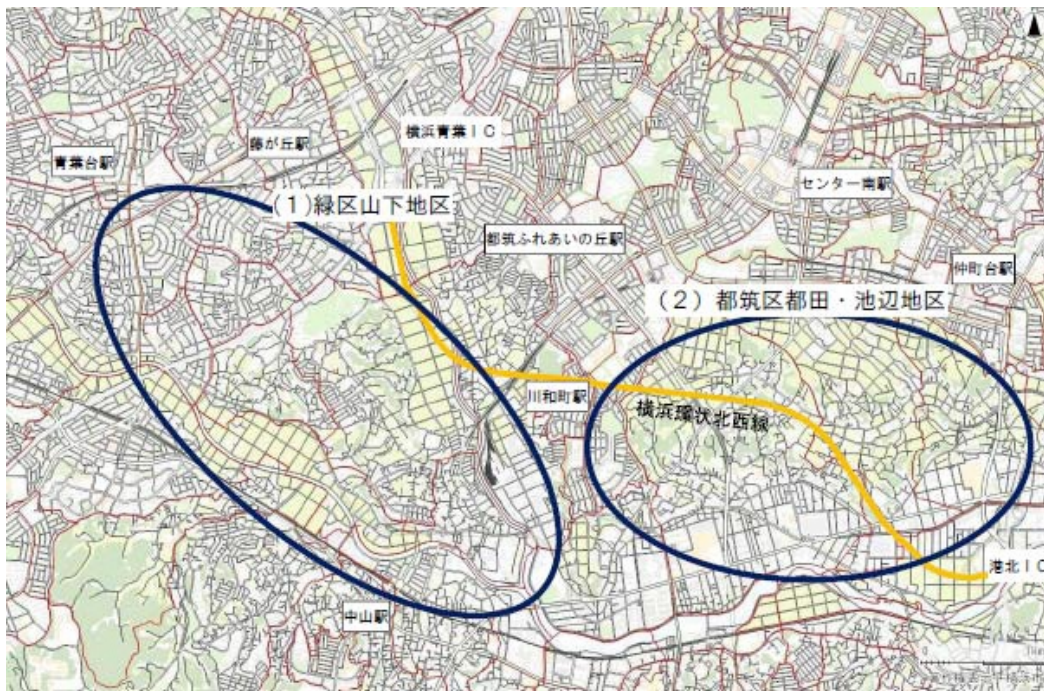
境木地区(保土ヶ谷区)における実証運行開始の様子



議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組 地域の共助による取組

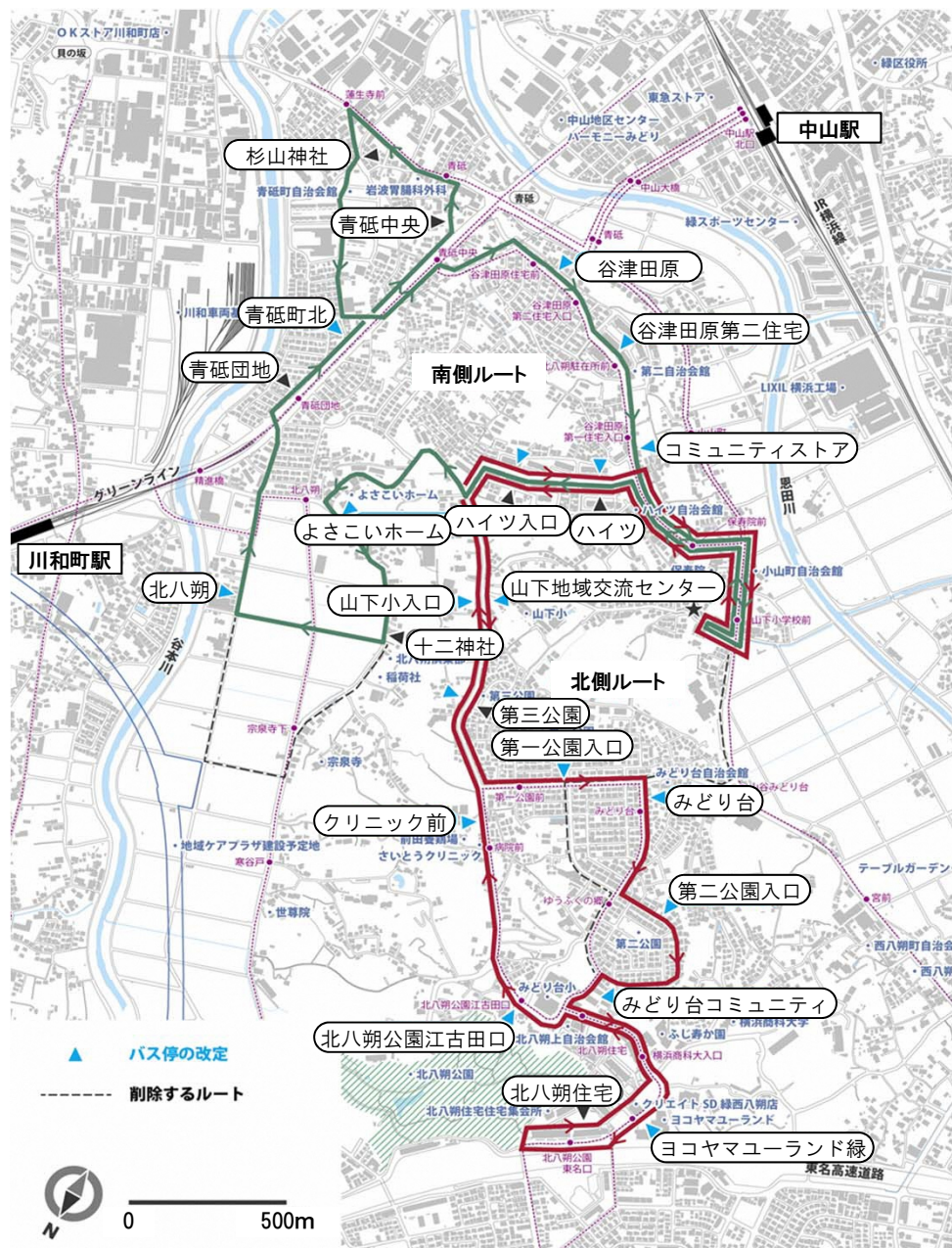
- ・ 緑区山下地区と都筑区都田・池辺地区においては、横浜環状北西線の建設を契機に、地域住民の方々からなる「ボランティアバス協議会」と横浜環状北西線建設関連企業による「地域貢献協議会」の協力により、高齢者の買い物や通院など日常生活の移動を支援を実施しています。
- ・ 横浜市では実証運行期間において、燃料費等の支援を行っています。



地域の共助によるボランティアバス

議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組⑥ 緑区山下地区



■地区の概要

- 鶴見川と恩田川に囲まれた三角形の地区(川沿いは農地、中央の丘陵部に住宅地が展開)
- 約7,500世帯(高齢化率25.6%)



車両写真

■取組の経緯

- 平成25年1月 山下地区安全・安心まちづくり協議会を設立
- 平成28年1月 協議会・建設企業体・横浜市の3者で連携協定を締結
- 平成28年11月 3者の役割の詳細を定めた協定を締結し、実証運行を開始



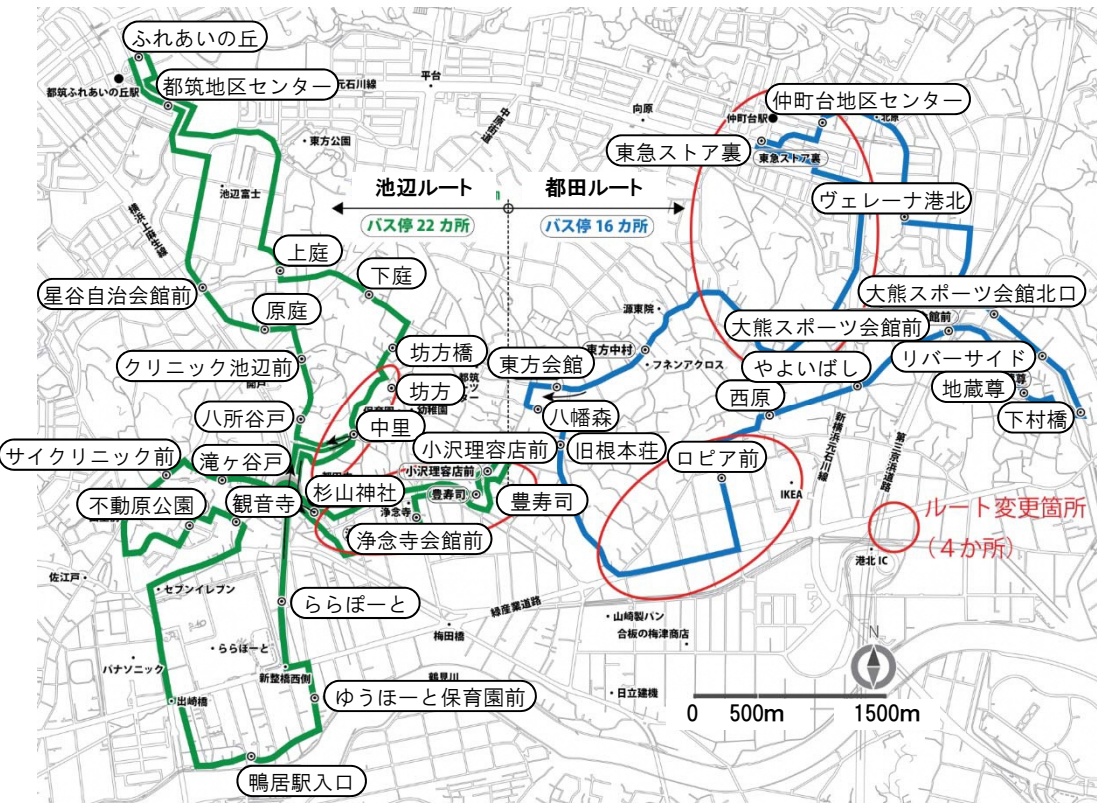
会員証写真

■実証運行の概要

- 地域の方々のボランティアによる無償運行
- 平日5便/日(火・水・木・金)
- 10人乗りワゴン型車両による運行
- 高齢者の方、子育て世代等を対象

議題(2) 地域交通サポート事業取組地区の状況について

最近の取組⑦ 都筑区都田・池辺地区



■地区の概要

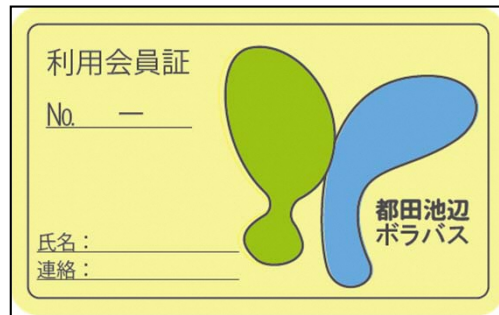
- 港北ニュータウン南側の丘陵部、大部分が市街化調整区域(都筑スポーツセンターやJA(メルカート)などがあるが、生活利便施設は少ない)
- 約8,000世帯(高齢化率22.3%)

■取組の経緯

- 平成29年2月 任意団体として「都田・池辺地区ボランティアバス協議会」を立ち上げ、3者の役割の詳細を定めた協定を締結
- 平成29年5月 実証運行を開始



車両写真



会員証写真

■実証運行の概要

- 地域の方々のボランティアによる無償運行
- 平日5便/日(都田:月・木、池辺:火・金)
- 8人乗りワゴン型車両による運行
- 高齢者の方、子育て世代等を対象

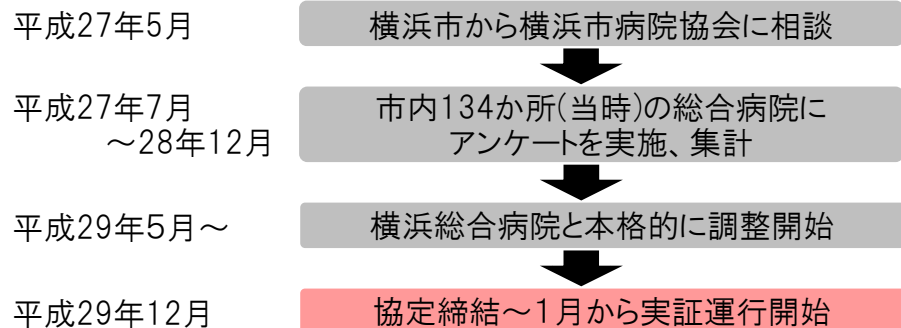
(参考) 病院送迎バスを活用した取組について

「地域貢献送迎バス」

- 地域の移動手段を確保する新たな試みとして、横浜総合病院(青葉区鉄町)が運行する無料送迎バスの空席を、対象地域に居住する高齢者等の日常の移動手段として活用する実証運行を平成30年1月29日(月)より開始しました。

■背景と経緯

- 高齢化の進展に伴い、よりきめ細かな移動手段の確保が求められる中、民間の主体が運行する送迎バスを地域の移動手段に活用する検討を開始しました。
⇒公益財団法人横浜市病院協会を通じて、市内の総合病院にアンケートを実施しました。



■実証運行における役割分担(協定の締結)

○横浜総合病院

- ・実証運行への協力
- ・送迎バスの運行
- ・車両の維持管理



○横浜市

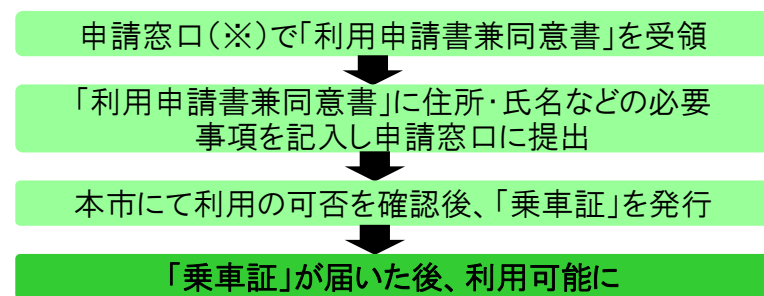
- ・利用希望者への案内、乗車証の交付
- ・運行車両の搭乗者に対する傷害保険への加入
- ・運行車両へのドライブレコーダー取付
- ・実証運行の検証 等



■実証運行の概要

- ・平日4便/日
- ・14人乗りワゴン型車両による運行
- ・青葉区在住の満70歳以上でご自身で乗降できる方を対象

■利用手続き



※申請窓口:青葉区区政推進課又は道路局企画課